

### 【基金の状況】

項目	22年度末現在高	構成比	21年度末現在高	伸び率
一般会計	95億6,312万円	68.3%	92億5,953万円	3.3%
特別会計	44億3,949万円	31.7%	43億5,012万円	2.1%
計	140億261万円	100.0%	136億965万円	2.9%

### 【市債の状況】

項目	22年度末現在高	構成比	21年度末現在高	伸び率
建設地方債	213億5,516万円	31.3%	221億8,880万円	-3.8%
交付税振替分などの地方債	112億2,198万円	16.4%	99億9,669万円	12.3%
計	325億7,714万円	47.7%	321億8,549万円	1.2%
下水道債	284億1,953万円	41.6%	284億1,006万円	0.0%
水道債	54億1,183万円	7.9%	52億5,699万円	2.9%
その他	18億8,076万円	2.8%	18億8,928万円	-0.5%
計	357億1,212万円	52.3%	355億5,633万円	0.4%
合計	682億8,926万円	100.0%	677億4,182万円	0.8%

### 【一般会計決算の主な財政指標】

形式収支	8億7,646万円	歳入から歳出を引いた額
実質収支	3億2,707万円	上記の形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源を引いた額
単年度収支	-3億1,936万円	上記の実質収支から、前年度の実質収支を引いた額
経常収支比率	84.0%	経常的な一般財源に対する経常的な歳出の割合 【参考】21年度 全国市町村平均値：91.8%

### 【「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率の状況】

項目	19年度	20年度	21年度	22年度	早期健全化基準
実質公債費比率	11.5%	11.4%	11.1%	10.6%	25%以上
将来負担比率	93.0%	92.7%	80.5%	71.2%	350%以上

※**実質公債費比率**…標準財政規模に占める実質的な公債費（他会計の公債費に対する一般会計繰出金などを含む）に費やした一般財源の割合。18%以上の団体は、地方債の発行に際し、知事の許可が必要となる。

※**将来負担比率**…地方債や他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など、将来、支払っていく可能性のある負担などの年度末時点での残高を指標化した数値。この数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いと判断される。

## 平成22年度の重点施策

#### 《次代を担う子どもたちを健やかに育む施策》

◆**保育体制の拡充**（1億3,387万円）永福保育園の新園舎整備を支援。



▲新園舎で元気に遊ぶ園児

◆**ふるさと保育の推進**（407万円）子供たちの記憶に残る舞鶴らしさが実感できる保育を実施。



▲舞鶴湾で捕れた魚の説明を聞く園児

◆**おもちゃ図書館の設置**（554万円）おもちゃの貸し出しのほか、親子でおもちゃ遊びができる「おもちゃ図書館」を西乳児保育所内に設置。



▲おもちゃに真剣な乳幼児

◆**病児保育の支援**（937万円）安心して子どもを預けて働ける環境を整備するため、病児保育室ピノキオ（医療法人岸本病院内）の整備を支援。



▲看護師と保育士に見守られて過ごす乳幼児

◆**白糸中学校の改築**（13億8,074万円）教育環境の充実を図るため、校舎・体育館を改築。



▲新しく改築された校舎へ登校する生徒

◆**加佐地区の教育環境の整備**（4,070万円）学校再編に伴う校歌・校章の制作やスクールバスの購入など。



▲新たに購入されたスクールバスに乗って登校する児童

◆**中学校にエアコンを設置**（9,547万円）城南・若浦・岡田中学校の普通教室と特別教室の一部にエアコンを設置。

《**定住を促進するための安心・安全で暮らしに優しい施策**》

◆**消防施設の整備**（1億5,609万円）消防ポンプ自動車や小型動力ポンプの更新、防火水槽の整備など。



▲新しい小型動力ポンプの説明を聞く消防団員

《**地域経済の活性化・雇用対策を推進する施策**》

◆**京都舞鶴港発着クルーズの実施**（223万円）クルーズの実施や京都舞鶴港の新たな魅力を創出する取り組みへの支援。



▲サンセットクルーズの様子

《**歴史や文化など地域の個性を活かした施策**》

◆**細川幽斎公没後400年記念事業**（111万円）細川佳代子氏（細川家第18代当主・細川護国元首相夫人）の講演会や熊本市との交流など。



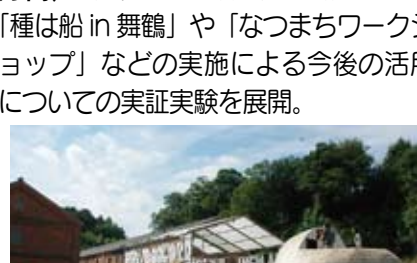
▲細川佳代子さんが市民会館で講演

◆**舞鶴公園の整備**（8,100万円）広場の芝生化や老朽化したトイレ・遊具をリニューアルし、より親しみやすく歴史を感じることができる公園を整備。



▲「くつろぎ広場」や「ステージ広場」を芝生化

◆**赤れんがパーク整備**（3億9,259万円）赤れんが倉庫群の整備のほか、「種は船in舞鶴」や「なつまちワークショップ」などの実施による今後の活用についての検証実験を展開。



▲赤れんが倉庫群を利用して開催された「赤れんがアート&クラフトフェスタ」

《**このほかの取り組み**》

◆**道路整備**（7億4,346万円）市道九杵橋線の整備など。



▲急勾配の解消と拡幅、歩道の整備により見通しが良くなった市道九杵橋線

◆**東日本大震災の支援**（1,171万円）緊急消防援助隊の出動、給水支援活動の実施、支援物資の運搬などにより被災地を支援。



▲被災地で作業する緊急消防援助隊（宮城県南三陸町）

◆**「しらせ」舞鶴帰港歓迎事業**（155万円）南極観測艦「しらせ」の歓迎セレモニーやレセプションのほか、特別見学会などを実施。



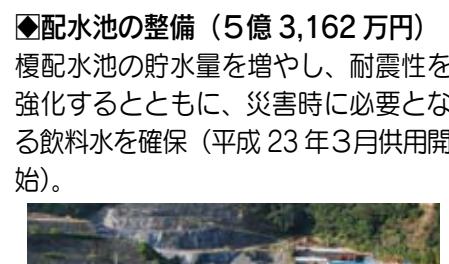
▲帰港に合わせた見学会に多くの市民が参加

◆**有害鳥獣被害の防止対策事業**（2,989万円）有害鳥獣の捕獲用のおりの購入や資材補助、電気柵の設置補助など。



▲田畑を有害鳥獣から防除するために設置した電気柵

◆**配水池の整備**（5億3,162万円）複配水池の貯水量を増やし、耐震性を強化するとともに、災害時に必要となる飲料水を確保（平成23年3月供用開始）。



▲耐震性が強化された複配水池

### 【特別会計】

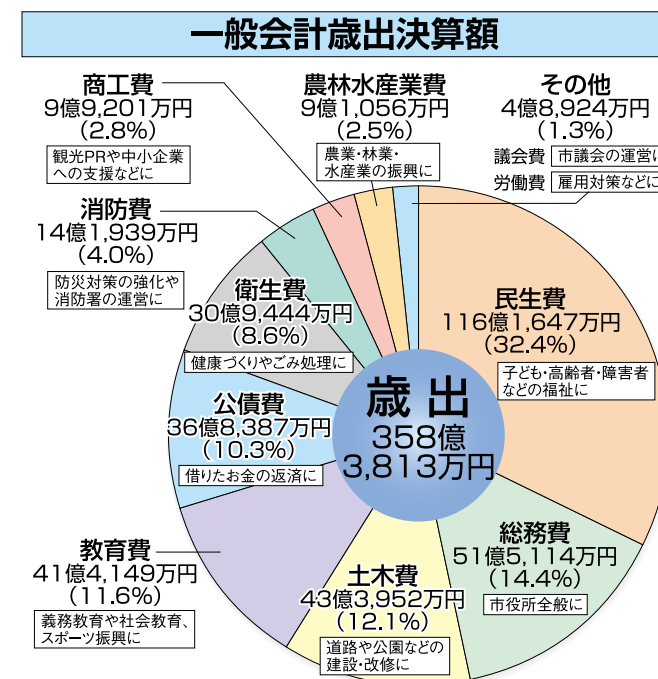
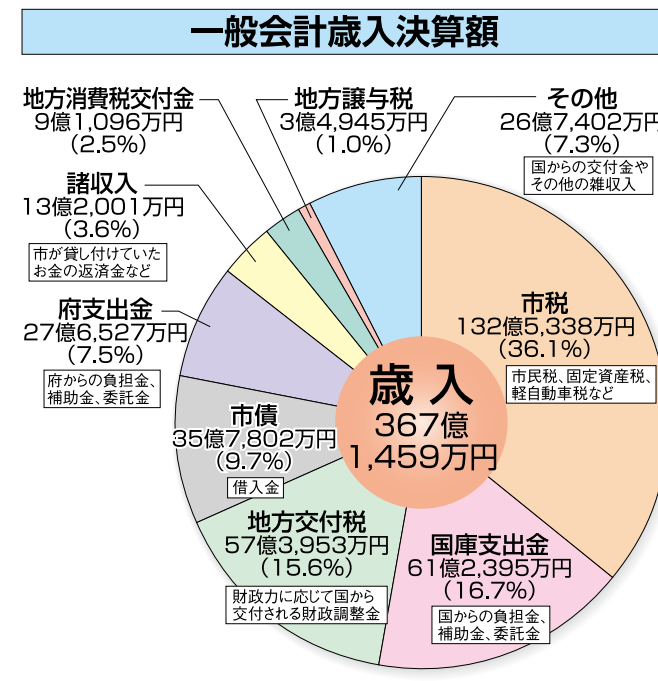
区分	22年度決算額
国民健康保険事業会計	収入 89億7,362万円 支出 87億6,117万円 収支 2億1,245万円
介護保険事業会計	収入 66億3,335万円 支出 65億8,252万円 収支 5,083万円
下水道事業会計	収入 45億2,892万円 支出 44億9,517万円 収支 3,375万円
後期高齢者医療事業会計	収入 10億5,071万円 支出 10億4,819万円 収支 252万円
老人保健医療事業会計	収入 2,454万円 支出 2,454万円 収支 0万円
簡易水道事業会計	収入 7億2,304万円 支出 7億582万円 収支 1,722万円
駐車場事業会計	収入 5,121万円 支出 2,323万円 収支 2,798万円
公設地方卸売市場事業会計	収入 2,584万円 支出 2,524万円 収支 60万円
土地建物造成事業会計	収入 5,148万円 支出 1,810万円 収支 3,338万円
貯木場事業会計	収入 39万円 支出 38万円 収支 1万円

### 【企業会計（消費税込み）】

区分	収益的収支	資本的収支	概要
水道事業	収入 17億1,182万円	10億989万円	配水量（年間）12,094,965立方メートル 給水戸数 30,342戸
	支出 14億7,991万円	15億9,562万円	
	収支 2億3,191万円	-5億8,573万円	
病院事業	収入 14億5,823万円	8,405万円	病床数 198床 外来患者 139人/日 （うち診療所患者 32.4人/日） 入院患者 50.8人/日
	支出 14億5,823万円	1億8,043万円	
	収支 0万円	-9,638万円	

特別会計（企業会計を含む）では、複配水池など水道施設の整備や全市水処理に向けた下水道の整備、国民健康保険や介護保険の運営など、市民の皆さん誰もが快適に安心して生活できる環境づくりに努めました。その結果、歳入が2億3億2,709万円（前年度から1.3%減）、歳出が2億6億3,813万円（前年度から1.1%減）となり、一般会計で黒字となりました（左表参照）。

### 一般会計



### 一般会計

一般会計では、子育て支援の強化として、子ども手当の給付や子育て支援医療費の助成、病児保育を含めた保育体制の拡充などに取組み、白糸中学校の設置や赤れんがパークの整備、

### 22年度決算

歳入 630億4,168万円  
歳出 622億3,668万円

住んでみたい、住み続けたいまちへ

平成22年度の決算がまとまりました。厳しい経済情勢のもと、市税が大幅に減取する中、引き続き行財政改革に取り組みとともに、国の地域活性化などの各種交付金を活用し、子育て支援や教育環境の充実、雇用対策のほか、直面する課題に対応する事業に重点的に取り組まれました。その結果、一般・特別会計の総額は、歳入が630億4,168万円（前年度から1.1%増）、歳出が622億3,668万円（同1.1%増）となりました。

育創造計画に基づく教育環境の整備、中学校（城南若浦岡田）へのエアカン設置などに取組みました。

また、地域経済の活性化や雇用対策として、中小企業資金融資事業や各種雇用創出事業に取り組んだほか、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助、舞鶴公園や赤れんがパークの整備、

東日本大震災による被災地への支援として、緊急消防援助隊の出動や給水支援活動などを行いました（主な重点施策は下記参照）。

その結果、歳入が3億7億1,459万円（前年度から2.9%増）、歳出が3億5億8,813万円（同2.7%増）で、23年度への繰越額（5億4,939万円）を除いた実質収支は3億2,707万円（黒字）となりました（左上図参照）。